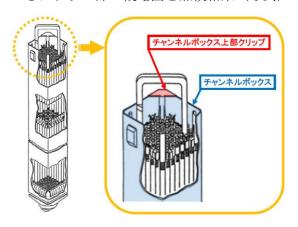
福島第二原子力発電所の現況

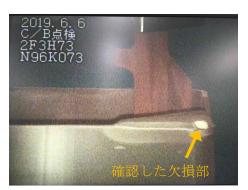
当所 1 号機および 3 号機における燃料集合体チャンネルボックス上部の点検 完了について

2019 年 5 月 29 日にお知らせした、当所 1 号機および 3 号機における燃料集合体チャンネルボックス *1 上部の点検については、同年 6 月 25 日までにすべての外観点検が完了しました。

点検の結果、1号機で3本、3号機で22本の燃料集合体チャンネルボックス上部クリップ*2の一部に 欠損があることを確認しましたが、いずれもチャンネルボックスの機能に影響をあたえるものではありま せんでした。

○クリップ部の概略図と点検結果(写真)





(写真は3号機)

*1 チャンネルボックス

燃料集合体に取り付ける四角い筒状の金属製の覆いのこと。チャンネルボックスを取り付けることにより、燃料集合体内の冷却材の流路を定めるとともに、制御棒作動の際のガイドや燃料集合体を保護する役割を持つ。

*2 チャンネルボックス上部クリップ

燃料集合体にチャンネルボックスを固定するとともに、燃料集合体にチャンネルボックスを脱着する際に治具を取り付けるための役割を持つ。

以上

<以下、2019年5月29日お知らせ済み>

2012年7月に東北電力株式会社女川原子力発電所3号機において、燃料集合体チャンネルボックス上部クリップに欠損が確認されたことを踏まえ、当所1号機および3号機について、燃料集合体チャンネルボックス上部クリップの外観点検を5月30日より開始します。(2号機および4号機は、2016年までに点検済)

- ○1号機点検対象 (チャンネルボックス: 2533本)、3号機点検対象 (チャンネルボックス: 2544本)
- ・水中カメラによる上方向からの確認 (1号機:2533本、3号機:2544本)
- ・水中カメラによる横方向からの確認(上方向からの確認において、クリップ部白色化等を確認したもの)

<参考>

当社は、2012年7月10日に東北電力株式会社女川原子力発電所3号機において、燃料集合体チャンネルボックス上部クリップに欠損が確認されたことを踏まえて、2012年8月10日に経済産業省原子力安全・保安院より指示文書を受領しました。これに基づき、柏崎刈羽原子力発電所1~7号機において、当該部の外観点検を実施し、点検結果および原因と対策等について、2013年9月26日に原子力規制庁へ最終報告書を提出しております。(2013年9月26日お知らせ済み)